

第57回 大滝杯 北海道大学男・女バレーボールリーグ春季大会
競技・審判上の確認事項

《競技》

- 本大会は2024年度公益財団法人日本バレーボール協会6人制競技規則で行う。
 - ①今大会の使用球は、男子・ミカサ製V300W、女子・モルテン製V5M5000とする。
 - ②今大会リーグ戦の順位決定は勝敗を基本とし、同勝の場合はセット率、同率の場合は得点率とする。
 - ③今大会の男女1部リーグは2回戦方式、10日日程で行う。男女2部リーグ以降は1回戦方式、2日日程で行う。
 - ④今大会の男女1部リーグ戦、男女1部と男女2部の入れ替え戦は5セットマッチとし、5ボールとする。また、男女2部リーグ戦、男女チャレンジリーグ戦及びその入れ替え戦は3セットマッチとし、1ボールとする。
 - ⑤男女チャレンジリーグ戦において、各グループ1位チームによる決勝リーグを行い、結果上位2チームが2部下位2チームと入れ替え戦を行う。
※男女チャレンジ決勝リーグ：5月12日(日) 札幌学院大学
男女入れ替え戦：5月26日(日) 札幌学院大学
- ベンチには有効にエントリーされた部長・監督・コーチ・マネージャー・トレーナー各1名、14名までの選手の計19名以内の着席を認める。着席の際、チーム役員は直径6cm程度の円台（色は自由）の役職マークを左胸部につけること。
リベロの取り扱いには以下のようにする。
 - ・13名以上の選手を構成する場合は、必ず2名のリベロを登録しなければならない。12名以下の場合は、0名～2名のリベロを登録することができる。
 - ・リベロはチームキャプテンにもゲームキャプテンにもなることができる。
- 今大会はコロナ禍の経緯措置として、エントリーはチームに在籍する全ての選手を登録し、申し込みのものから選手の番号も含め追加・変更を認めない。コンポジションシートは試合ごとに最大14名を選抜し、1試合目のチームは試合開始45分前、それ以降チームについては、前の試合の第一セット終了前までに大会本部へ提出し、確認を受けること。
- 監督・コーチ・マネージャーは(臨時役員変更届)を構成メンバー表と同時に提出することによって、変更することができる。
ただし、学連及びJVA・MRSに有効に登録されたスタッフの中から、正当な理由がある場合のみに限られる。部長・トレーナーの変更は認めない。
- 各会場の試合開始時刻は競技日程に記載のとおりとするが、以下の事項についても確認すること。
 - ①男女1部リーグ戦の会場入りは試合設定時刻の90分前とし、第一試合のコート練習開始は試合設定時刻の60分前とする。
 - ②男女2部リーグ戦、男女チャレンジリーグ戦及び入れ替え戦の会場入りは試合設定時刻の60分前とし、第一試合のコート練習開始は試合設定時刻の30分前とする。
 - ③プロトコルは、全試合において競技開始11分前にスコアラーステール前でトスを行う。
 - ④男女1部リーグ戦、男女1部と男女2部の入れ替え戦は前の試合終了後、設定時間までの猶予が45分以上ない場合は、前の試合終了後34分後にプロトコルを開始する。
 - ⑤男女2部リーグ戦、男女チャレンジリーグ戦及びその入れ替え戦は前の試合終了後、設定時間までの猶予が30分以上ない場合は、前の試合終了後19分後にプロトコルを開始する。

⑥開始時刻を15分経過してもチームが競技場に現れない場合はその試合を没収する。
- 公式ウォームアップにはベンチに着席を認められた19名以外の参加を認めないが、そのチームの在籍者についてはボールキーパーとしての参加を認める（ただし、ユニフォーム以外の統一された服装であること）。
- コートオフィシャル [スコアラ-2名(内、アシスタントスコアラ-1名)・ラインジャッジ4名・点示員2名・ボールリトリバー6名(男女1部リーグ戦、男女1部と男女2部の入れ替え戦)・JVIMS3名(男女1部リーグ戦)] は参加チームの負担で行う。
人数不足の場合は大会3日前までに公式LINE等で必ず連絡すること。

- ①当番校は競技日程及び競技・審判上の確認事項を熟読確認のうえ学連とともに運営協力を依頼する。
- ②コートオフィシャルは担当する試合のプロトコール開始までに速やかにスコアラーステールに集合すること。
- ③コートオフィシャルの服装はチームで統一すること。
- ④スコアラーステールはプロトコール開始前に大会本部より公式記録用紙を受け取ること。
- ⑤点示員は試合前にチームプレートに大会本部まで取りに行くこと。また、試合終了後は大会本部に返却すること。

8. フロア・モッピングについて

コート内の選手が各自用意しているタオルで、ラリー終了からサービス許可までの間におこなうこと。

ただし、構成メンバー以外のエントリメンバーを最大2名クイックモッパーとして配置することを認める。服装は、試合用ユニフォーム・チーム役員とは異なる統一されたものとし、位置は監督席とスコアラーステールの間、2名の場合はベンチの両端に各1名配置すること。なお、モッパーはモッピングを目的とするので、応援は真むこと。

9. タイムアウト中、およびセット間については、ベンチにいる交代選手またはクイックモッパーがモップを使っても構わない。

10. 次の試合の待機チームは、前試合終了の挨拶が終了し、チームがコートを離れる。また、ボールをボールケースから出して手に持つことも行ってはならない。試合が終了したチームは速やかにベンチから退出すること。

11. チーム役員の服装について、

- ①**チーム役員は、ネクタイ及びジャケットを着用するか、チームで統一されたトレーニングウェアを着用しなければならない。**
- ②部長・監督がジャケットを着て、コーチ・トレーナー・マネージャーが統一されたトレーニングウェアを着てもよい。
- ③選手と違うトレーニングウェアを着用する場合は、チーム役員で統一されたものを着用する。
- ④統一された服装であっても、Tシャツ等の襟の無いものや、短パン、ハーフパンツ、ジーンズは許可されない。
- ⑤選手兼任の監督は、ベンチではスコアラーステールに一番近い席に座る、またはウォームアップエリアにいても許される。
監督マークは、ユニフォームに直接つけるか、着脱しやすいビブス、ポロシャツなどの見やすい位置に必ずつけること。

12. 選手のユニフォームについて

- ①ユニフォームとは、ジャージ、パンツ、ソックスを指す。
- ②ユニフォームは配色やデザインが統一されていないといけない（リベロを除く）。
- ③チームは、カラーの異なった2種類のユニフォームを用意することが望ましい。
- ④ユニフォームのメインカラー（主たる色）は、65%以上を占めていることとする。
- ⑤リベロはチームの他の選手とははっきりと区別できる対照的な色のユニフォームを着用しなければならない。左右対称とか上下対称ということではなく、はっきりと区別できる色とデザインであること。
- ⑥ジャージ、パンツ及びソックスは色、デザインが統一されていること。
- ⑦ジャージは半そで、長そでが混在していてもよい。
- ⑧ソックスはくるぶしが隠れる長さで（**バリーショートソックス着用者は出場させない**）、色及び長さが統一されていること。

⑨アンダーウェアについて

- 1) アンダーウェアはユニフォームの袖や襟、首などからはみ出してはならない（プレー中を除く）。
- 2) 医療を目的としたサポーター類はユニフォームの下に着用しなければならない。

⑩気温が高いときに、ファーストレフェリーの許可を得て、（リベロを除き）全員が同じ色、同じデザインで番号のついているものに限り、トレーニングウェアを着用することができる。

⑪プロトコールからゲーム終了までの間、スタッフ及び選手はJVA公認以外のユニフォームを着用する場合には、その企業ロゴマークをマスキングすること（シューズとサポーターを含む）。

13. 選手の番号について

- ①ユニフォームには、番号がユニフォームとはっきりと区別できる対照的な色で、明確に表示されていないといけない。
 - ・番号は、胸部の高さが最小限15cm、背部の高さが最小限20cmなければならない。番号の字幅は最小限2cmである。
 - ・チームキャプテンは、胸部の番号下に長さ8cm×縦2cmのマークを付けなければならない。
- ②パンツ前面右下に、高さ4～6cm、字幅1cm以上の番号を付けてもよいが、全員がそろっていないといけない。

14. ベンチには部旗（鍔をはずしたもの）、飲料、救急用具などの必需品以外を持ち込まないこと。ボールケースはベンチには置かず、コート外の

アリーナ壁側に置くこと。

15. 開館後コート設営が終了するまではコート内に入ることはいけません。また、設営終了後は各チーム譲り合って使用のこと。なお、当該コートの第1試合の両チームは競技開始15分前から優先的にコートを使用できる。
16. 競技中に、コート上でプレーしていない選手はウォームアップエリアでボールを使わずにウォームアップすることができる。
また、タイムアウト中には、そのコートのフリーゾーンでボールを使わずにウォームアップすることができる。
なお、セット間に限りフリーゾーンにてボールを使ってウォームアップすることもできる（ただし、エンドライン後方部分のみ）。
17. 試合の構成メンバー表に記載されていない選手がコート上にいることが発見された場合は、相手チームの得点はそのまま有効でさらに1点とサーブ権を得る。間違ったチームは、その選手がコートに入った時点から得たすべての得点とセットを失う。
18. 競技フロアでのユニフォームへの更衣を禁ずる。

《審判》

1. 試合球は公認5号球（人工皮革）を使用し、内気圧は0.31kg/cm²で行う。
2. 公式ウォームアップはサーブ権を得たチームからそれぞれ3分間ずつ、合同の場合は6分間行う。
3. 公式ウォームアップをする際は、選手はすべてユニフォームに着替え、番号がわかるようにすること。
4. チームがサーバー順について審判団より誤った情報が与えられ、プレーが続いた時は、その時点までラインアップと得点を戻す。
この場合は、タイムアウト、罰則はそのまま有効となる。
5. コート上の選手が6人ではない時やりペロがポジション4にいるのに、サービスのホイッスル後にラリーが始まった場合、そのラリーは罰則なしにやり直しとなる。
6. 5回の選手交代を終えた後に2人の交代選手が選手交代ゾーンに入ってきたときは、1組だけ交代可能で、他の選手交代は不当な要求となる。
7. 監督が不在で、監督の役割を引き継ぐアシスタントコーチもチームにいない場合は、ゲームキャプテンが中断の要求をすることができる（監督がいる場合、監督のみ中断の要求ができる）。
また、監督が試合途中からベンチに入る場合は、その時点から権利を行使することができる。なお、サインはセット間またはゲーム終了後におこなうこと（なお、チームキャプテンの申し出があれば、コーチがその権限を代行できる）。
8. タイムアウトに入ったら、コートから離れなくてはならない。ただし、その位置については制限されない。また、タイムアウトは30秒間であるが、選手は、30秒を待たずにコートに戻っても良い。ただし、タイムアウトの時間が短くなることはない。
9. コイントスに勝ったチームキャプテンは次のいずれかを選ぶ。
① サービスをするか、サービスを受けるか ② コートの選択

《総務》

1. 会場における所持品の管理は各チームで責任をもつこと。なお、紛失、盗難に関して、学連では責任を負わない。
2. 体育館は、内・外履きの区別をすること。
3. 飲食・喫煙は所定の場所ですること。なお、健康管理の観点から喫煙はやめるように心掛けること。
4. 着替えは更衣室で行うこと。
5. ごみは分別し、各チームで持ち帰ること。
6. 会場へは公共交通機関を利用し、極力自家用車での来場は控えること。
7. 当番大学は大会運営に協力すること。また、当番大学は帰る際には必ず本部に連絡すること。
8. 選手の負傷に関して学連では病院の紹介以外では関与しない。
9. **写真撮影の際は学連へ申し出て、許可証を貸与する。**

競技フロア内の撮影については学連広報、報道各社、各大学広報、チーム広報に限る。

フラッシュ撮影禁止とする。

※以上の事項に違反した場合は、学連代表委員会にてその処分を決定する。

北海道学連ホームページURL : <https://hokkaidogakuren.wordpress.com>

北海道学連メールアドレス (諸君宛受付) : hkdgakuren2023@gmail.com

北海道大学バレーボール連盟 事務局

〒060-0004

札幌市中央区北 4 条西 6 丁目 1-3

北四条ビル 503 号室
